

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年11月12日
【四半期会計期間】	第69期第2四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）
【会社名】	仙波糖化工業株式会社
【英訳名】	Semba Tohka Industries Co.,Ltd
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 堀川 駿太郎
【本店の所在の場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 芝山 哲
【最寄りの連絡場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 芝山 哲
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 前第2四半期 連結累計期間	第69期 当第2四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売上高 (千円)	7,859,704	8,479,774	15,928,354
経常利益 (千円)	206,772	265,388	458,870
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	125,549	188,893	226,683
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	157,108	233,365	467,811
純資産額 (千円)	7,172,795	7,625,790	7,483,498
総資産額 (千円)	15,630,566	15,902,550	16,261,309
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	11.03	16.59	19.91
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	45.9	48.0	46.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	289,602	14,555	1,117,850
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	60,658	625,287	663,444
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	306,164	110,206	454,808
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,751,167	1,334,793	1,834,417

回次	第68期 前第2四半期 連結会計期間	第69期 当第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日	自平成27年7月1日 至平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.87	10.54

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益に改善が見られたことから、緩やかな回復基調が続きました。個人消費については円安に伴う物価上昇などを受け、先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましては、消費者の節約志向が続く中、円安や新興国の需要増などから原材料価格が上昇し、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは自社商材の拡販と提案営業の強化に加え、グループ全生産拠点の生産性向上に注力してまいりました。その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は84億79百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

製品の種類別売上高では、カaramel製品は、飲料向け製品及びデザート関連製品が減少し、16億10百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。乾燥製品類は、粉末茶や和風調味料などの自社商材が増加し、28億53百万円（前年同四半期比14.1%増）となりました。組立製品類は、ヘルスケア関連製品が増加し、21億45百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。冷凍製品は、冷凍山芋及び冷凍和菓子が増加し、12億23百万円（前年同四半期比12.6%増）となりました。その他は、調味料関連製品が増加し、6億45百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、構造改革の浸透もあり、営業利益は2億79百万円（前年同四半期比23.7%増）、経常利益は2億65百万円（前年同四半期比28.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億88百万円（前年同四半期比50.5%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して4億99百万円減少し、13億34百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は14百万円（前年同四半期は2億89百万円の獲得）となりました。

これは、売上債権の増加額6億31百万円、減価償却費3億84百万円、たな卸資産の減少額3億52百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は6億25百万円（前年同四半期は60百万円の使用）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出6億75百万円、貸付金の回収による収入58百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1億10百万円（前年同四半期は3億6百万円の使用）となりました。

これは、長期借入れによる収入4億円、長期借入金の返済による支出2億25百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億27百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,400,000	同左	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,400,000	同左	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株 式 総数残 高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日	-	11,400	-	1,500,500	-	1,194,199

(6)【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
東洋水産株式会社	東京都港区港南2-13-40	2,005	17.58
UNITED FOODS INTERNATIONAL 株式会社	東京都千代田区猿楽町1-5-18 千代田ビル	1,393	12.21
ユタカフーズ株式会社	愛知県知多郡武豊町字川脇34-1	1,000	8.77
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4-1-25	558	4.90
株式会社常陽銀行 (常任代理人 日本マスター トラスト信託銀行株式会社)	茨城県水戸市南町2-5-5 (東京都港区浜松町2-11-3)	542	4.75
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	325	2.85
仙波糖化工業従業員持株会	栃木県真岡市並木町2-1-10	304	2.66
魚住昭義	栃木県真岡市並木町	268	2.35
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サー ビス信託銀行株式会社)	東京都千代田区大手町1-5-5 (東京都中央区晴海1-8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィス タワーZ棟)	182	1.60
理研ビタミン株式会社	東京都千代田区三崎町2-9-18	150	1.31
計	-	6,729	59.03

(注) 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 15,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,380,000	113,800	-
単元未満株式	普通株式 4,200	-	-
発行済株式総数	11,400,000	-	-
総株主の議決権	-	113,800	-

## 【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
仙波糖化工業(株)	栃木県真岡市並木町 2丁目1番地10	15,800	-	15,800	0.13
計	-	15,800	-	15,800	0.13

(注) 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,849,417	1,349,793
受取手形及び売掛金	3,323,273	3,942,660
商品及び製品	1,682,276	1,418,260
仕掛品	434,063	440,891
原材料及び貯蔵品	739,448	641,424
繰延税金資産	135,762	132,416
その他	242,143	307,767
貸倒引当金	3,920	3,990
流動資産合計	8,402,465	8,229,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,715,385	2,841,269
機械装置及び運搬具(純額)	1,956,002	2,108,182
その他(純額)	1,096,749	652,427
有形固定資産合計	5,768,137	5,601,879
無形固定資産	52,668	50,119
投資その他の資産		
投資有価証券	1,555,902	1,618,370
繰延税金資産	196,691	178,797
その他	302,314	239,511
貸倒引当金	16,871	15,350
投資その他の資産合計	2,038,037	2,021,328
固定資産合計	7,858,843	7,673,327
資産合計	16,261,309	15,902,550

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,863,902	1,753,848
短期借入金	2,548,181	2,603,314
未払法人税等	155,251	87,327
賞与引当金	252,781	261,265
その他	1,335,874	789,656
流動負債合計	6,155,989	5,495,410
固定負債		
長期借入金	1,207,558	1,367,816
退職給付に係る負債	1,193,903	1,185,569
資産除去債務	51,518	51,622
その他	168,839	176,341
固定負債合計	2,621,820	2,781,349
負債合計	8,777,810	8,276,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	4,055,919	4,153,740
自己株式	4,970	4,970
株主資本合計	6,754,558	6,852,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	706,231	746,107
為替換算調整勘定	31,130	35,169
退職給付に係る調整累計額	8,421	7,866
その他の包括利益累計額合計	728,939	773,411
純資産合計	7,483,498	7,625,790
負債純資産合計	16,261,309	15,902,550

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	7,859,704	8,479,774
売上原価	6,442,427	6,955,347
売上総利益	1,417,277	1,524,426
販売費及び一般管理費	1,191,219	1,244,750
営業利益	226,057	279,676
営業外収益		
受取利息	1,129	2,602
受取配当金	11,666	12,354
為替差益	1,431	173
その他	11,982	16,330
営業外収益合計	26,210	31,461
営業外費用		
支払利息	14,782	15,827
持分法による投資損失	21,823	18,744
その他	8,889	11,177
営業外費用合計	45,495	45,749
経常利益	206,772	265,388
特別利益		
投資有価証券売却益	-	4,999
特別利益合計	-	4,999
特別損失		
固定資産除却損	8,238	-
特別損失合計	8,238	-
税金等調整前四半期純利益	198,534	270,388
法人税、住民税及び事業税	91,266	79,511
法人税等調整額	18,282	1,982
法人税等合計	72,984	81,494
四半期純利益	125,549	188,893
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,549	188,893

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	125,549	188,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,822	39,876
為替換算調整勘定	5,431	2,475
退職給付に係る調整額	577	555
持分法適用会社に対する持分相当額	7,409	1,563
その他の包括利益合計	31,558	44,471
四半期包括利益	157,108	233,365
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,108	233,365
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	198,534	270,388
減価償却費	368,267	384,452
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,278	1,450
賞与引当金の増減額(は減少)	7,934	8,483
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	31,421	7,516
長期未払金の増減額(は減少)	3,494	20,392
受取利息及び受取配当金	12,795	14,957
支払利息	14,782	15,827
為替差損益(は益)	306	10
持分法による投資損益(は益)	21,823	18,744
投資有価証券売却損益(は益)	-	4,999
固定資産除却損	10,510	2,583
売上債権の増減額(は増加)	252,627	631,803
たな卸資産の増減額(は増加)	27,740	356,781
その他の流動資産の増減額(は増加)	34,821	54,787
仕入債務の増減額(は減少)	10,481	97,944
その他の流動負債の増減額(は減少)	71,992	104,385
その他	11,522	5,538
小計	309,831	165,358
利息及び配当金の受取額	15,953	15,401
利息の支払額	13,537	15,520
法人税等の支払額	22,644	150,684
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,602	14,555
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	5,000	5,000
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	139,709	675,189
有形固定資産の除却による支出	6,796	-
有形固定資産の売却による収入	1,177	-
無形固定資産の取得による支出	2,800	1,911
投資有価証券の取得による支出	3,610	3,595
投資有価証券の売却による収入	-	5,000
貸付けによる支出	4,870	9,910
貸付金の回収による収入	93,487	58,969
その他の支出	338	539
その他の収入	2,801	1,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,658	625,287
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	30,000	41,302
長期借入れによる収入	-	400,000
長期借入金の返済による支出	230,642	225,912
リース債務の返済による支出	15,066	14,465
配当金の支払額	90,456	90,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	306,164	110,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,792	901
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	79,012	499,624
現金及び現金同等物の期首残高	1,830,179	1,834,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,751,167	1,334,793

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
給料手当及び賞与	232,119千円	240,962千円
賞与引当金繰入額	72,244	80,958
退職給付費用	22,146	21,313
貸倒引当金繰入額	1,278	1,450
運賃	220,559	237,769
研究開発費	131,469	127,414

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
現金及び預金勘定	1,766,167千円	1,349,793千円
預入期間が3か月を超える定期預金	15,000	15,000
現金及び現金同等物	1,751,167	1,334,793

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	91,073	8.00	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月25日 定時株主総会	普通株式	91,073	8.00	平成27年3月31日	平成27年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円03銭	16円59銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	125,549	188,893
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	125,549	188,893
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,384	11,384

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月10日

仙波糖化工業株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鎌田 竜彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松浦 竜人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている仙波糖化工業株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、仙波糖化工業株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。